



あつま

6月定例会号

No. 172

平成30年7月発行

議会だより



松浦武四郎の
足跡をたどる
町内バスツアー

第2回定例会（補正予算等）、国に物申す（意見書）、臨時議会	2～4
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	5
産業建設常任委員会	6
一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、三國和江、下司義之 3氏が問う	7～9
町内行政視察（平成29年度の行政効果）フォトレポート	10～11
北海道町村議会議員研修会、全員協議会	12
議決案件（賛否状況）	13
議会のうごき、文化活動団体紹介（陶芸同好会）	14



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

6月定例会

第2回定例会を6月7日に開催し、3人の議員による一般質問のほか、議案6件、報告6件、承認1件、意見書案1件を審議しました。
また、閉会中の議員派遣(研修会、町内行政視察等)、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会の所管事務調査等が報告され、了承されました。

議案第1号
厚真町総合ケアセンター
維持運営基金条例の廃止

同条例第5条第2項により、基金の全額を処分したため、条例を廃止した。

議案第2号
厚真町循環福祉バス運行
条例の一部改正

循環福祉バスの利用対象者を拡大し、住民の交通の確保を図るため、条例を一部改正した。

○改正内容
利用対象者に、次の2項目を追加。

- ①市街地(京町・表町・本町・錦町)に住所を有する者のうち、市街地を除く地域に本人またはその同一世帯が所有する住居を有する者。
- ②町外に住所を有する者で、町内の市街地を除く

地域に本人またはその同一世帯が所有する住居を有する者。

議案第3号
財産の取得(スクールバス)

○取得理由
永年利用による老朽・劣化に伴う車両の購入。

○取得方法
指名競争入札

653万円

○取得の相手方
三菱ふそうトラック・バス株式会社 北海道ふそう苫小牧支店

○規格等
三菱ローザ、ロングボデイ、29人乗り、ディーゼルトターボ6AT



議案第4号
工事請負契約の締結

次のとおり、工事請負契約を締結した。

○工事名
上厚真中央公園整備工事

○契約の方法
指名競争入札

○契約金額
1億2744万円

○契約の相手方
丸斗・北辰・金谷造園
経常建設共同企業体

議案第5号
工事請負契約の締結

次のとおり、工事請負契約を締結した。

○工事名
町道新町フォーラム線
道路改良工事

○契約の方法
指名競争入札

○契約金額
8046万円

○契約の相手方
北辰・森田経常建設共同企業体

平成30年度一般会計補正予算

※補正予算は万円以下切り捨てで記載しています。

町有地管理事業

補正額 276万円
事業予算額 506万円
総務課研修防災G

宅地、道路用地、学校用地(放課後児童クラブ用地含む)として、新町地区の国有地を取得する。

財源内訳

町の財源 276万円

地番・面積等	地番	面積(m ²)	備考
	新町124番地先	385.86	宅地
	新町92番1地先	48.35	道路用地
	新町92番1地先	1180.80	学校用地
	新町92番1地先	23.57	道路用地
	新町92番1先	96.02	学校用地
	合計	1734.60	

認知症対応型共同生活介護施設整備事業

補正額 203万円
事業予算額 203万円
町民福祉課福祉G

町民がより安心して暮らせる環境を整えるため、緊急的に施設へ入居する必要性のある高齢者に対し、一時的に入居（緊急ショートステイ）することができる施設を増設する団体へ建設費の補助を行う。

【事業概要】

増設工事費：407万円
補助交付金：203万円（補助率 1/2）
補助対象者：NPO法人ゆうあいネットあつま
補助対象施設：既存施設「のど家」に居室1室を増設
増設面積 12.21㎡
居室 11.21㎡（6.8畳）
非常口 1㎡（0.6畳）

財源内訳

道補助金（介護サービス提供等基盤整備事業） 113万円
町の財源 90万円

厚真放課後児童クラブ整備事業

補正額 1億7440万円
事業予算額 2億1650万円
生涯学習課社会教育G

厚真放課後児童クラブの拠点である厚真児童会館は、築50年を経過し老朽化が進んでいるに加え、利用児童の増加から狭あいとなっている。

今後のさらなる利用児童増加に対応するとともに、安全・安心な子育て環境を構築するため、新たな専用施設を厚真中央小学校隣接地に整備する。

【事業概要】

〔費用〕

建設工事監理費：370万円
建設工事費：1億7070万円

〔建物概要〕

木造平屋建：延べ面積 459.59㎡
施設定員：150人（支援単位 50人×3）

【質疑】

問 駐車場予定地にある立ち木について、非常に危ないかなというところがある。古木になってきていることもあり、枝払いなどのメンテナンスも必要ではないかと思うが、かなり大きな木なので費用的にも発生してくるのでは。木の管理についてどのように考えているのか。

答 この木については、非常に立派な自然木であり、周りの自然を生かした子育てを目指しているのでも、広葉樹については極力残していきたいと考えている。確かに老木で、枯渇した枝が落下する・折れる危険性はあるので、枯れ具合等については監視しながら適切に管理していきたい。

財源内訳

国支出金 1億1611万円
道支出金 2903万円
地方債 2900万円
町の財源 26万円

国に物申す

第2回定例会において「地方財政の充実・強化を求める意見書」が提出され、可決・採択されました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

（要旨抜粋）

地方自治体は、高齢化が進行する中で医療・介護、子育て支援など社会保障への対応、地域交通の維持、森林環境政策の推進など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施、公共施設の老朽化対策など、新たな政策課題に直面しています。

一方、公共サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応が困難となっており、人材確保を進めるためこれに見合う財源が必要です。

また、自治体基金は景気動向による税収の変動

人口減少による税収減や地域の実情を踏まえた政策課題に対応する目的で積み立てており、財政的余裕によるものではないことから基金残高を地方財政計画に反映させて地方交付税を削減すべきではありません。

地域に必要な公共サービスの提供を担保するための財源保障が地方財政計画の役割です。しかし、財政健全化目標を達成するために歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば住民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、国に以下の事項の実現を求めます。

1. 急増する社会保二―

ズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。

2. 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。

3. 地方交付税におけるトップランナー方式は、廃止・縮小すること。

4. 公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業など対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。

5. 人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税を算定すること。

6. 国税から地方税へ財源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。

7. 小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

8. 地方自治体の基金は、

災害の復旧・復興に対応できるよう、財政支出の削減等に努め積み立てたものであり、これを地方財政計画へ反映しないこと。

提出者

高田芳和

賛成者

伊藤富志夫

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

内閣官房長官



第2回臨時会

第2回臨時会が4月23日に開催され、議案2件について審議しました。

■厚真町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、厚真町税条例を一部改正した。

○改正内容（抜粋）

①固定資産税

①土地価格の変動に伴う税負担の激変緩和のため、負担調整措置を平成32年度まで3年間延長。

②水力・地熱・バイオマス・太陽光・風力発電に係る税の特例（軽減）割合を整備。

②町たばこ税

①課税規定を変更し、「加熱式たばこ」（区分新設）として課税対象とする。

②税率の引き上げ。

③紙巻たばこ3級品に係

る税率引き上げ時期の延長等。

③個人町民税

①均等割の非課税規定の整備（配偶者控除の見直しに伴う規定の文言整備）。

④法人町民税

①法人税割額の計算規定の一部変更。

②申告期限の延長がある場合の延滞金の計算規定の一部変更。

■平成30年度一般会計補正予算

835万2000円が増額補正され、歳入歳出予算の総額が59億7435万2000円になりました。

※補正内容は下記のとおり。

経営体育成基盤整備事業

補正額 603万円
事業予算額 603万円

産業経済課農林業G

経営体育成にかかる助成金。

財源内訳

道補助金(経営体育成交付金) 603万円



町営ブロードバンド事業

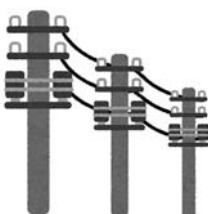
補正額 232万円
事業予算額 1012万円

まちづくり推進課企画調整G

光ファイバーケーブル支障移転工事にかかる補正。

財源内訳

その他(光ファイバーケーブル支障移転工事補償費) 232万円



委員会 レポート

委員会は4月24日、所管事務調査を行い、その結果を第2回定例会に報告しました。

(事務調査2件、現地調査1件より抜粋)

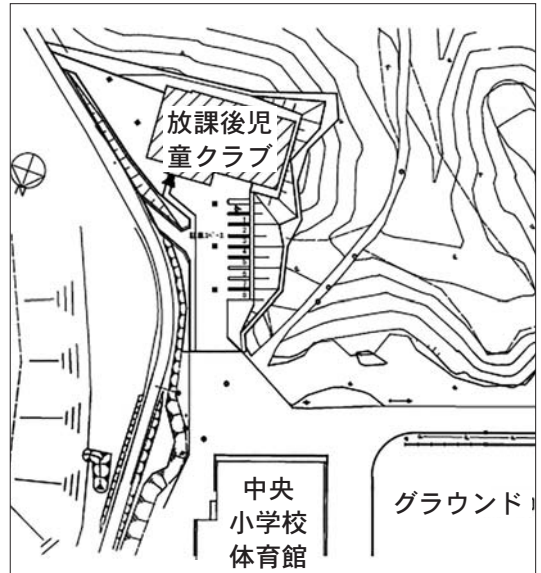
厚真放課後 児童クラブ

厚真放課後児童クラブの建設予定地と、設計内容を確認しました。

厚真地区児童会館は築50年を経過し、老朽化が進んでいるのに加え、利用児童数の増加により狭あいとなっていることから、安全・安心な環境を確保するため、新たな施設を建設する。

建設地は、小学校体育館に隣接していること、盛土を少なく造成することができ、駐車場を確保できること、立木の伐採が少ないことから中央小学校体育館裏側となった。

施設は、木造平屋建て、延べ床面積は約459㎡、中央に共同保育室、周りに定員50人の専用室3室、その他調理室、静養室、事務室、乾燥室を設置し、定員は150人。



厚真放課後児童クラブ建設予定地配置図

【主な質疑】

問 共同保育室には扉などにガラスがあると思うが、ボール遊びはさせないのか。

答 ボールを使つての遊びは小学校体育館で行う。

問 小学校に防犯カメラを設置するが、児童クラブも遠方から監視する考えは。

答 防犯カメラは児童クラブにも設置を考えている。

問 テラスは森のほうを

向いているが、外との関連も想定に入れてのことか。

答 テラスの外側に「冒險の杜」という子ども達の遊び場ができていくと想定しているので、その遊び場との接続中間地点ということではテラスを設置している。

問 現在、児童会館で活動している文化団体はどうなるか。

答 児童会館は、児童クラブが建設された後も当面は残るので、利用団体は当面利用できる。

交通弱者対策

市街地近郊の交通弱者対策および運転免許証返納者の交通対策を調査しました。

厚真町の公共交通に関する現状説明の後、循環福祉バスの利用拡大案の説明を受けた。

拡大案の内容は、現在、循環福祉バスを利用できない市街地または町外に住んでいる方が、市街地以外にある本人または同一世帯が所有する家屋への移動に限り、循環福祉バスを利用できるようにするというもので、現在、地域公共交通活性化協議会の協議準備を行っている。

【主な質疑】

問 利用拡大の対象は、家屋を管理する方だけとされているが、田畑、友達の家、寺などの利用は対象にならないのか。

答 家屋ということで協議している。

問 交通弱者対策を制度の説明からされるが、利用者側の視点で交通対策を考えたほうが良いのでは。

答 利用者側の視点で、というのを最も大事だと考えている。

問 現在、家用車の乗車率が1台当たり1.2人となっている。目的地への相乗りをマッチングする、コストシェア型ライドシェアは取り組みやすく効果が期待できるのでは。

答 こうしたマッチングは古くからされていたと思われるので取り組みやすいと思うが、よく聞くのは事故とか保険の対応である。なかなか進まないのはここが心理的ネットワークになっているのではないかと考えます。

委員会 レポート

産業建設常任委員会

委員会は4月26日に所管事務調査を行い、その結果を第2回定例会に報告しました。

(事務調査2件より抜粋)

厚真町空き家対策推進事業について

空き家等対策の推進に関する特別措置法（以下「法」）による空き家等対策計画に基づき、厚真町における空き家等対策として、次の事業を展開。

- ① 補助・融資事業
- ② 空き家バンク制度
- ③ 空き家等に関するデータベースの整備
- ④ 空き家等を含む建物所有者等への適切な管理のための情報提供等
- ⑤ 空き家等、および空き家等跡地の活用と支援策の検討
- ⑥ 厚真町空き家等対策協議会開催



■事業の内容（抜粋）

- 補助・融資事業
- ① 厚真町空き家等利活用資金補助事業
- ② 厚真町空き家等利活用資金貸付事業
- ③ 厚真町空き家活用事業の3事業があり、対象者・対象事業・補助額・貸付金額等はそれぞれ定められている。
- ①～③の事業は、そのうちの1事業しか利用できない。

○ 空き家バンク制度

空き家の所有者から申し込みを受けた空き家の売却または賃貸に関する情報を、町内定住を目的として空き家の利用を希望する者に対し紹介するシステム。

○ 厚真町空き家等対策協議会の開催

法に基づく空き家等対策計画の策定・変更・実施に関する協議を行う。会長を町長とし、議員、学識経験者、地域住民等16人の委員で構成。

町道の整備計画について

昭和50年代から、国の補助事業や電源石油交付金等を活用し、積極的に道路や橋梁の整備を進めている。

■ 町道の整備現況（H30.4.1 現在）

種別	延長(km)	改良		舗装		備考
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)	
1級・2級その他合計	268.5	210.2	78.3	181.4	67.6	270路線
胆振計	4,568.6	3,220.7	70.4	2,984.9	65.3	H29.4.1 現在
全道計	71,071.0	48,354.3	68.0	42,247.3	59.4	H29.4.1 現在

■ 今後3力年（平成30～32年）の町道整備計画について

町道整備計画は、第4次厚真町総合計画に基づき行う。

道路の利用状況や関連事業に合わせた整備、町道施設点検に基づく二次改築、橋梁点検結果に基づく橋梁の修繕について行っていく。

平成30年度から32年までの計画としては、平成30年度は新町フォーラム線の改良など9路線、平成31年度は新町フォーラム線の改良・舗装など9路線、平成32年度は宇隆・東和線の舗装など3路線および町道の施設点検を予定している。

※財政状況等により、見直しがある場合もあり。

【主な質疑】

問 今年の冬は凍結が強く、舗装に穴が開いたりでこぼこになったりしている。舗装路面オーバーレイの予算は。

答 補修工事の中で、ひどいところから主に修繕を出している。段差の大きいところについては、今年度できるところについては行っていく。できないところについては、今後、予算要求させていきたい。ただ補修していきたい。

問 町道の補修について、補修してきれいにはなっているが、補修した舗装部分が低くなっている。段差ができていく。整備後の点検等は行っているのか。

答 補修する場合は、若干上げるのが一般的。今後、そのようなことがないように業者に指導していきたい。

問 町道の未舗装部分の計画はどうなっているか。

答 生活道路として主に使われている場所がかなり終わってきている。今後、自治会要望等に併せて、計画しながら舗装していきたい。

一般質問

ここが聞きたい



介護予防

要望に対するその後の対策は

答 速やかに対処していく

伊藤富志夫 議員

町長 ご指摘の浴槽の深さは60cmほどあり、多少深いので、現在、浴槽内に高さ20cm幅36cmの台を置くことで対応する予定。また、入浴する際につかめる手すり、浴槽の縁に手すりを設置する予定。



いきいきサポートサロンの浴槽。深くて手すりがない

問 4月にスタートしたいきいきサポートサロンの施設内の浴槽が「深くて手すりもないので、危ないから改善を」と要望が出ていますが、その後の対策はどうなったか。

また、この施設の整備目的「入浴サービスの専用施設を」と言っている施設で、なぜこんな事態が生まれたのか。

答 さらに今後の連携を深めていく努力はしていきたい。

問 昨年9月の第3回定例会で学校給食について質問したが、平成29年度の学校給食の厚真産食材の使用状況と、平成29年10月以降の値上げした結果による賄い材料費の変

学校給食

無償化または一部補てんの考えは

答 今のところ補てんの考えはない

化はどうだったか。

また、学校給食費の今後について、来年3月にまた5%値上げを予定、さらに再来年3月にも検討するとなっている。今、全国・全道では無料化が進んできている。厚真町でも無償化か一部補てんの考えが必要と思うが。

教育長 平成29年度の実績値は、野菜は22%、お米は100%、みそは、おふくろみそを使用している。平成29年10月以降の賄い材料費は上半期より100万円増で、29年度全体で3200万円、集めた給食費は2890万円、310万ほど補てんをしている。

給食費の扱いは、受益者負担と設置者負担の区分を設け、年度の会計において最終的に補てんをする結果になっている。積極的に年度当初から町が補てんをしていくという姿勢は今のところない。

一般質問

ここが聞きたい

介護予防



三國和江 議員

施設の設備改善が必要では

答 状況に応じ必要な対応をしていく



引き戸の溝が浅く、手がかけづらい形状となっている



トイレの下方に設置されている緊急用ボタン

問 いきいきサポートサロンが開設し、中を見せたいいただいた。このようなサロンができたことは本当に良かったと思うが、施設内の設備について、玄関・トイレ・浴室内の手すりや、トイレの緊急ボタンの位置が遠いなど、改善が必要と思われるところが何力所があった。不具合については早く直したほうが良いのではないか。

町民福祉課長 あくまでも介護予防の施設・設計という、ユニバーサルデザインの上に立って設計をしていることをご理解いただきたい。必要に応じて部分的に改修をしていく。

町長 完成して引継ぎを受け、オープン直前に1回見たが、改修後は見に行っていない。
一般質問化された問題が議会当日までに修繕されるということはあくまでも偶然で、問題を指摘されたから慌てて直したということではなく、最善を尽くした結果。これからも、問題に

して対応していきたい。



下司義之 議員

厚真高校

厚真高校の存続へ 新たな支援策を

答

視点を変えながら

行つていきたい

問 北海道厚真高校の振興に関しては、教育振興会に対して通学費、広報活動費、資格取得などに係る進路指導費等、多様な補助を行っている。

平成29年度からは通学バスの沼ノ端延伸も行い存続へ向けて努力を継続しているが、第一次出願者数は、平成29年度に48人であったものが、平成30年度は26人となった。

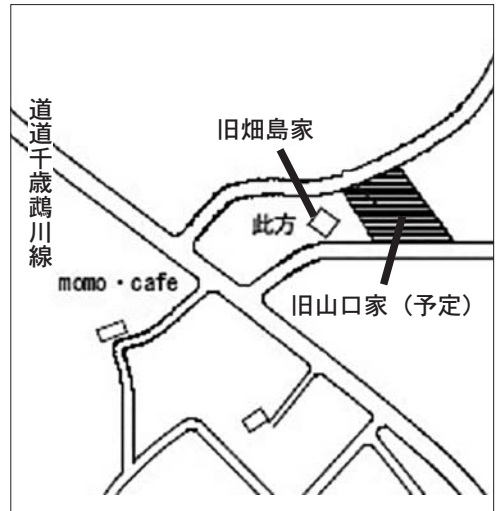
通学補助は抜本的な対策にならなかつたと思われる。新たな視点に立った振興支援策が必要と思うが。

教育長 今年度に入り、学校内の教職員の皆さんの組織による厚真高校の将来像といったものの検討が進められているとのことをお話を聞いています。こうした中から意見等をいただき、高校と関係者の皆さんとの間で協議を重ね、これまでと違った視点で他校との差別化を図り、厚真高校の独自の魅力、特色ある学校づくりの教育というものに視点を変えながら、生徒の確保につながる支援を行つていきたいと思う。

古民家再生事業

影響を受ける 町内事業者への説明は

答 速やかに説明をする



古民家配置計画 (案)

問 古民家再生事業の旧畑島家は、差別化されたパンの販売、各種イベント開催など、遠方からの集客により地域の活性化に大きく寄与している。当事業者は町内の既存事業者と競争がなかつたが、今後建設される旧山口家は、活用提案者が東京都のワタミファーム&エナジー(株)であり、内容がレストランと宿泊を組み合わせた事業ということなので、町内の関係事業者から不安の声もあり、説明もしくは情報提供が必要と思うが。

町長 今回の活用案は、厚真町の自然、文化、産業や多様な人材を生かした今後の観光地域づくりを進める上で重要な提案である。

既に魅力的な店舗がオープンし、町外からも人が集まるフォーラムビレッジ周辺を中心に、新たな人口流入の拡大を図りたい。

限られたパイを奪い合うのではなく、相乗効果により町の活性化に貢献する内容だと歓迎しているが、関係者から不安の声があるとも聞いているので、速やかに説明する。

(こんな質問もしました)

小規模企業の振興

問「小規模企業の振興に関する条例」の制定は。

町長 議論を深めていきたい。

健康管理の推進

問 AGE(終末糖化産物)測定器の導入を。

町長 国の動きも見ながら、もう少し研究したい。

平成29年度の行政効果と
今年の作況状況を現地視察

行政視察

平成30年度議会議員町内行政視察

7月11日、平成29年度に執行された事業の確認と厚幌ダムの湛水状況、農作物の作況等を確認する「町内行政視察」を行い、町内9カ所を視察しました。

いきいきサポートサロン



厚幌ダム



青果物予冷貯蔵施設



高齢者共同福祉住宅

◇平成30年度議会議員町内行政視察◇

シェアサテライトオフィス



畑作物生育状況（共和地区）



水稻生育状況（宇隆地区）

担い手研修農場



上厚真
中央公園
および便所



視察の様子



北海道町村議会議員研修会レポート

【講師】 歴史家・作家 加来 耕三 氏
日本大学法学部教授 岩井 奉信 氏

7月3日、札幌コンベンションセンターで、全道144町村・1587人の議員が一堂に会し「北海道町村議会議員研修会」が開催された。

開会にあたり、主催者を代表して道町村議会議長会の西村昭教会長から、JR問題や議員のなり手不足問題について、また「講演からしつかり学び明日の力に」とあいさつがあった。

最初の講演は「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題し、歴史家・作家の加来耕三氏が「どうすれば歴史を具体的に活用できるか」と提起。参加者に「明治維新はいつ、どこから始まったか」と質問した後、明治維新にまつわる新たな事実を紹介し、西郷隆盛や坂本龍馬のイメージを大きく変え、心を揺さぶった。まとめで言われた「立ち止まって考え、左右のバランスをみる」、「飛躍論旨を持たない。数字を重視する」

などは、聞く者の「明日の力」になったと感じた。続いて、「現代日本政治と政局のゆくえ」と題し、日本大学教授の岩井奉信氏が講演。岩井氏は、安倍氏の総裁3選はほぼ間違いないことや、今後の消費税増税や衆参ダブル選挙、憲法改正発議の可能性などを示唆。また、アベノミクス効果や外交問題、新時代を担う政治には「何をしたいか」を示すリーダーが求められていると話された。しかし、5年先の政治は不透明で国が混乱する可能性もあるとし、地方は国の影響を受けない身構えが大事と主張されていた。



全員協議会

全員協議会が6月8日に開催され、厚真町一般職の任期付職員の採用に関する条例についてなど、下記の3つの事項について説明を受けました。

■厚真町一般職の任期付職員の採用に関する条例

〔制定の趣旨〕

任期付職員は、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用等に関する法律の規定により、地方公共団体の政策判断で条例に基づき制度化されるものであり、職員の任期を定めた採用及び給与の特例に関し必要な事項を定めるもの。

〔制定理由〕

専門知識を有する業務については、給与・勤務条件を常勤の一般職と同様の取り扱いが認められ、複数年にわたる任期も可能となる。

■厚真・上厚真市街地区域の土地利用について

厚真市街地(新町地区)および上厚真市街地(北部地区)の住居系並びに事業系等にかかる土地利用構想について、説明を受けました。

■厚真町木本建設教育振興基金条例

〔制定の背景〕

有限会社木本建設から、創業60周年の節目を記念し、厚真町の未来を担う子どもたちの教育振興等に活用できるようにといたいただいた寄付金を基金として適切に管理するため

〔制定の目的〕

向上心を持った次代を担う厚真町に住所を有している者の子弟に対する学資金の一助とするため

※なお、条例案については、今後の本会議において提案され、審議されま



議会の議決案件（賛否状況）

第2回臨時議会 平成30年4月23日（月）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	平成30年度厚真町一般会計補正予算（第1号）	賛成全員

第2回定例議会 平成30年6月7日（木）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町総合ケアセンター維持運営基金条例の廃止	賛成全員
議案第2号	厚真町循環福祉バス運行条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	財産の取得（スクールバス）	賛成全員
議案第4号	上厚真中央公園整備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第5号	町道新町フォーラム線道路改良工事請負契約の締結	賛成全員
議案第6号	平成30年度厚真町一般会計補正予算（第2号）	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認（平成29年度厚真町一般会計補正予算（第13号））	賛成全員
報告第1号	専決処分の承認（損害賠償額の決定）	賛成全員
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	賛成全員

議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

■厚真町議会ホームページ

<http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

■問い合わせ先

厚真町議会事務局（☎ 27 - 2485）



議会のうごき

【4月】

- 4日 転入教職員歓迎式
- 5日 厚真町交通安全指導員会定期総会
- 6日 厚真中央小学校入学式、上厚真小学校入学式
- 10日 議会広報特別委員会
- 11日 とまこまい広域農業協同組合第17回通常総代会
- 15日 厚真神社春季大祭（～16日）
- 19日 議会広報特別委員会
- 23日 第2回臨時会、議員協議会、議員会総会、厚真町自警団連合会総会
- 24日 総務文教常任委員会
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 産業建設常任委員会、議会広報特別委員会
- 29日 保田政彰氏・大岩滋雄氏叙勲受章祝い
- 30日 こぶしの湯あつま新メニュー懇親会

【5月】

- 1日 導水路通水試験現地視察、むかわ町議会正副議長就任あいさつ来庁
- 7日 北海道電力苫東厚真発電所長・発電課長来庁
- 8日 厚真ダム水神宮取水式
- 9日 安平町議会正副議長就任あいさつ来庁
- 10日 議会広報特別委員会
- 15日 第1回胆振管内町村議会議長会定期総会（～16日）
- 17日 苫小牧地方総合開発期成会総会
- 18日 厚真町商工会通常総会

- 21日 伊藤広志氏叙勲伝達式、北海道新幹線×nittan地域戦略会議総会
- 23日 大岩滋雄氏叙勲伝達式、胆振管内町村等監査委員協議会定期総会
- 24日 胆振東部消防組合議会臨時会、安平・厚真行政事務組合議会臨時会、胆振東部日高西部衛生組合議会臨時会
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 厚真中学校体育大会、厚南中学校運動会
- 31日 議会運営委員会

【6月】

- 7日 第2回定例会、全員協議会、議員協議会、議員会総会、議会広報特別委員会
- 9日 厚真中央小学校大運動会、上厚真連合運動会
- 12日 第69回北海道町村議会議長会定期総会及び議長・事務局長研修会、胆振管内町村議会議長会行政懇談会（～13日）
- 16日 第46回あつま田舎まつり前夜祭開会式、岩手県奥州市前沢訪問団との夕食懇談会
- 17日 第39回厚真支所農業まつり、豊穰祈願祭式典、岩手県奥州市前沢訪問団との昼食会
- 21日 厚真町交通安全協会定期総会
- 22日 富里浄水場通水式、勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会要望活動
- 24日 苫小牧市長 岩倉博文氏当選祝い
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 海外炭運搬船船上見学会
- 27日 定期監査（工事監査）（～28日）
- 28日 ㈱あつまスタンプ会定時株主総会懇親会
- 29日 議会広報特別委員会
- 30日 大岩滋雄氏を囲み旭日双光章受章を祝う会

文化活動団体紹介

陶芸同好会

紹介者：副会長 臼澤 賢一さん

陶芸同好会は、男性4名、女性26名の会員で活動しています。厚真町では古くから陶芸創作が行われており、その伝統を継承しつつ、各会員が創意工夫しながら、和気あいあい楽しく活動しています。

活動としては、創作館での作陶や町文化祭陶芸展での作品発表、胆振陶芸展への出展、依頼を受けて各小学校や学童保育、町内の団体等で陶芸教室を行っているほか、年1回、プロの陶芸家を招いて創作のスキルアップ勉強会を開催しています。また、昨年は江別市で行われた全道の「陶芸市ツアー」を企画し、会員外の方にも参加いただき大変好評でした。

会員は随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

- ◆昭和50年発足
- ◆会長 加賀谷 厚三
- ◆活動日時・場所
毎週火～土曜日 午前9時～午後5時
創作館（じゅらく舎）
- ◆連絡先 臼澤（携帯 090 - 6210 - 9509）



総会終了後の食事会